

## 154. 局所麻酔薬への添加剤(Adjuvant)

From MY point of view

- 局所麻酔薬の機能を装飾・強化する目的に添加剤(Adjuvant)を用いる
- 作用発現時間の短縮や作用時間の延長、毒性の軽減が期待できる
- 抗血栓療法を受けている患者の増加により、神経ブロックはより大きな役割をもつ
- 症例に応じて、モルヒネや低分子デキストランの添加を行えたらよいのではと思う(個人的に)
- off-Label 使用になることがほとんどなので注意が必要

出典: 局所麻酔薬中毒・アレルギー 克誠堂書店

麻酔科医のための周術期の薬物使用法 中山書店

1) Andreas L. Anesthesiology 2012; 116: 1335-46

2) Hamada T. Anaesthesia 2016; 71: 411-6

3) El Sherif FA. Journal of Clinical Anesthesia 2017; 39: 4-9

### Adjuvant の種類

#### 【炭酸水素ナトリウム】

- 非イオン型が増え 30-50%の作用発現時間が短縮

#### 【血管収縮薬】

- 血中濃度の上昇を 10-30%減少
- 麻酔の強さと持続時間も 30-50%延長

#### 【ステロイド】

- 鎮痛持続時間の延長、PONV の減少
- 局所投与と、全身投与で鎮痛増強効果に差はない
- 局所麻酔薬への添加により神経変性の軽減効果あり
- 全身作用か局所作用かははっきりしないが、  
神経損傷予防の観点から局所投与の方が有利かも

#### 【オピオイド】

- 末梢神経にオピオイドレセプターが存在する
- 局所麻酔薬と同様に Na<sup>+</sup>チャンネルの抑制作用がある<sup>1)</sup>
- 下腹部癌根治術で TAPB にモルヒネを添加した研究<sup>2)</sup>では、  
術後 12 時間時点での VAS は有意に低下(図2)

#### 【低分子デキストラン】

- 局所麻酔薬の血中への吸収を抑制する<sup>3)</sup>(図3)
- 下腹部手術における TAPB+RSB に低分子デキストランを  
混合した研究<sup>3)</sup>では、NRS が有意に低下し、  
24 時間後まで作用が持続

#### 【炭酸水素ナトリウム】

重炭酸 Na を添加(0.05-0.1mEq/ml 程度)すると、

